

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年11月13日

【四半期会計期間】 第9期第3四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 GMOフィナンシャルホールディングス株式会社

【英訳名】 GMO Financial Holdings, Inc.

【代表者の役職氏名】 取締役兼代表執行役社長 グループCEO 鬼頭 弘泰

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区桜丘町20番1号

【電話番号】 03-6221-0206(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役兼常務執行役 グループCFO 山本 樹

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区桜丘町20番1号

【電話番号】 03-6221-0206(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役兼常務執行役 グループCFO 山本 樹

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第8期 第3四半期 連結累計期間	第9期 第3四半期 連結累計期間	第8期
会計期間		自 2018年1月1日 至 2018年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2018年1月1日 至 2018年12月31日
営業収益	(百万円)	26,236	24,919	34,787
経常利益	(百万円)	9,427	7,418	11,849
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	6,216	4,628	7,719
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	6,458	4,848	7,845
純資産額	(百万円)	35,668	37,151	35,913
総資産額	(百万円)	548,102	586,607	524,733
1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	51.93	39.15	64.46
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	51.28	38.83	63.68
自己資本比率	(%)	6.3	6.1	6.7

回次		第8期 第3四半期 連結会計期間	第9期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	19.07	18.04

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社及び当社の連結子会社(以下「GMO-FH」)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、また、2019年3月25日に提出した有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在においてGMO-FHが判断したものであります。

#### (1) 経営成績に関する分析

当第3四半期連結累計期間の営業収益は24,919百万円（前年同期比5.0%減）、純営業収益は23,299百万円（同6.0%減）、営業利益は7,629百万円（同17.7%減）、経常利益は7,418百万円（同21.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,628百万円（同25.5%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における主な収益、費用、利益の状況は次のとおりです。

（単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
営業収益	26,236	24,919	1,316	5.0%
受入手数料	3,171	2,523	647	20.4%
トレーディング損益	19,132	18,982	150	0.8%
金融収益	3,335	2,901	434	13.0%
その他の営業収益	37	73	35	94.8%
その他の売上高	558	437	120	21.5%
金融費用	1,025	1,290	264	25.8%
売上原価	416	329	87	20.9%
純営業収益	24,793	23,299	1,494	6.0%
販売費及び一般管理費	15,524	15,669	144	0.9%
営業利益	9,268	7,629	1,638	17.7%
経常利益	9,427	7,418	2,008	21.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,216	4,628	1,587	25.5%

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は次のとおりです。

## 営業収益内訳（セグメント別/商品別）

（単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
証券・FX事業	22,692	21,328	1,364	6.0%
株式・ETF等 1	1,717	1,297	420	24.5%
先物・オプション	232	171	61	26.4%
取引所FX	561	404	156	27.9%
通貨関連店頭デリバティブ	15,366	14,767	598	3.9%
CFD・株BO 2	1,434	1,678	243	17.0%
金融収益	3,335	2,901	434	13.0%
その他	44	108	64	144.9%
仮想通貨事業	2,982	3,145	162	5.4%
仮想通貨	2,982	3,145	162	5.4%
その他	560	445	115	20.5%
その他	560	445	115	20.5%
調整額	0	0	0	-
営業収益合計	26,236	24,919	1,316	5.0%

- 1 株式・ETF等の取引に係る委託手数料及びその他の受入手数料、募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料、投資信託に係るその他の受入手数料が含まれています。
- 2 CFDには、一部海外子会社の店頭FXに係る収益が含まれています。株BOは2019年4月から商品の取り扱いを開始しました。

## （証券・FX事業）

証券・FX事業においては、年初の相場急変による店頭FX取引の一時的な収益性の低下及び外国為替市場のボラティリティ低下を背景とする取引高の減少の影響を受けて収益は減少したものの、収益改善施策の成果により引き続き高い収益率を維持し、2019年8月のボラティリティ復調時には店頭FXの収益は過去最高水準となりました。また、株式等委託売買代金の減少等を受けて受入手数料が減少、信用取引の売買代金の減少及び信用残高の減少等を受けて金融収益が減少したことから、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの営業収益は21,328百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益は6,810百万円（同21.2%減）となりました。

## （仮想通貨事業）

仮想通貨事業については、2019年8月以降の取引高が、仮想通貨のボラティリティの低下に加え、証拠金取引のレバレッジを7月末から仮想通貨交換業協会の自主規制規則を早期適用し引き下げたことも影響して減少しましたが、顧客基盤は順調に拡大しており、一定水準の収益を確保しました。当第3四半期連結累計期間における当セグメントの営業収益は3,145百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は707百万円（同45.3%増）となりました。

## (2) 財政状況の分析

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	524,733	586,607	61,874
負債	488,820	549,455	60,635
純資産	35,913	37,151	1,238

## (総資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は586,607百万円（前期末比61,874百万円の増加）となりました。これは主に、現金及び預金の増加18,740百万円、預託金の増加21,093百万円、信用取引資産の増加10,608百万円などによるものです。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は549,455百万円（前期末比60,635百万円の増加）となりました。これは主に、信用取引負債の増加13,571百万円、有価証券担保借入金の増加10,730百万円、受入保証金の増加19,612百万円、短期借入金の増加12,943百万円などによるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は37,151百万円（前期末比1,238百万円の増加）となりました。これは主に、自己株式の処分による資本剰余金の減少1,625百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加と配当金の支払いによる利益剰余金の減少の結果として利益剰余金が2,624百万円増加したことなどによるものです。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

## (5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、著しい変動はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	187,500,000
計	187,500,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	117,707,785	117,737,785	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であります。
計	117,707,785	117,737,785		

(注) 提出日現在発行数には、2019年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	117,707,785	-	685	-	1,530

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 117,697,800	1,176,978	
単元未満株式	普通株式 9,985		
発行済株式総数	117,707,785		
総株主の議決権		1,176,978	

## 【自己株式等】

該当事項はありません。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）並びに同規則第61条及び第82条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）、及び「有価証券関連業経理の統一に関する規則」（昭和49年11月14日付日本証券業協会自主規制規則）に準拠して作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	39,642	58,383
預託金	269,696	290,790
預り仮想通貨	13,918	19,868
信用取引資産	81,551	92,159
有価証券担保貸付金	7,558	9,393
短期差入保証金	57,579	55,006
支払差金勘定	40,282	45,088
その他	6,472	8,377
貸倒引当金	49	140
流動資産合計	516,651	578,926
固定資産		
有形固定資産	884	957
無形固定資産	2,914	2,670
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,071	792
その他	3,263	3,322
貸倒引当金	50	62
投資その他の資産合計	4,283	4,053
固定資産合計	8,082	7,680
資産合計	524,733	586,607
<b>負債の部</b>		
流動負債		
信用取引負債	24,995	38,567
有価証券担保借入金	12,714	23,444
預り金	43,381	45,458
預り仮想通貨	13,918	19,868
受入保証金	309,449	329,061
受取差金勘定	5,589	2,435
短期借入金	58,862	71,805
1年内返済予定の長期借入金	4,200	3,270
未払法人税等	2,250	653
賞与引当金	674	261
役員賞与引当金	419	-
その他	6,187	6,238
流動負債合計	482,642	541,065
固定負債		
長期借入金	3,350	6,497
その他	1,240	572
固定負債合計	4,590	7,069
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	1,587	1,320
特別法上の準備金合計	1,587	1,320
負債合計	488,820	549,455

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	657	685
資本剰余金	2,903	1,278
利益剰余金	31,022	33,646
株主資本合計	34,583	35,610
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	366	423
その他の包括利益累計額合計	366	423
非支配株主持分	963	1,117
純資産合計	35,913	37,151
負債純資産合計	524,733	586,607

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
<b>営業収益</b>		
受入手数料	3,171	2,523
トレーディング損益	19,132	18,982
金融収益	3,335	2,901
その他の営業収益	37	73
その他の売上高	558	437
<b>営業収益合計</b>	<b>26,236</b>	<b>24,919</b>
金融費用	1,025	1,290
売上原価	416	329
<b>純営業収益</b>	<b>24,793</b>	<b>23,299</b>
<b>販売費及び一般管理費</b>		
取引関係費	6,708	6,399
人件費	3,080	2,897
不動産関係費	2,065	2,161
事務費	2,208	2,572
減価償却費	661	711
租税公課	528	535
貸倒引当金繰入額	13	103
のれん償却額	122	122
その他	136	166
<b>販売費及び一般管理費合計</b>	<b>15,524</b>	<b>15,669</b>
<b>営業利益</b>	<b>9,268</b>	<b>7,629</b>
<b>営業外収益</b>		
投資事業組合運用益	134	-
為替差益	21	-
その他	8	8
<b>営業外収益合計</b>	<b>165</b>	<b>8</b>
<b>営業外費用</b>		
投資事業組合運用損	-	109
為替差損	-	100
売買過誤差損金	3	2
その他	2	7
<b>営業外費用合計</b>	<b>6</b>	<b>220</b>
<b>経常利益</b>	<b>9,427</b>	<b>7,418</b>

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
<b>特別利益</b>		
金融商品取引責任準備金戻入	238	266
投資有価証券売却益	43	-
資産除去債務戻入益	7	-
<b>特別利益合計</b>	<b>288</b>	<b>266</b>
<b>特別損失</b>		
投資有価証券評価損	-	398
固定資産除却損	13	0
<b>特別損失合計</b>	<b>13</b>	<b>398</b>
税金等調整前四半期純利益	9,703	7,287
法人税、住民税及び事業税	3,313	2,217
法人税等調整額	0	278
<b>法人税等合計</b>	<b>3,313</b>	<b>2,495</b>
四半期純利益	6,389	4,791
非支配株主に帰属する四半期純利益	173	162
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,216	4,628

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	6,389	4,791
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	69	57
その他の包括利益合計	69	57
四半期包括利益	6,458	4,848
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,285	4,686
非支配株主に係る四半期包括利益	173	162

## 【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
減価償却費	661百万円	711百万円
のれんの償却額	122百万円	122百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

## 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年2月20日 取締役会	普通株式	739	6.20	2017年12月31日	2018年3月26日	利益剰余金
2018年5月22日 取締役会	普通株式	892	7.46	2018年3月31日	2018年6月20日	利益剰余金
2018年7月26日 取締役会	普通株式	1,076	8.98	2018年6月30日	2018年9月20日	利益剰余金

## 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年10月25日 取締役会	普通株式	1,143	9.54	2018年9月30日	2018年12月20日	利益剰余金

## 3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

### 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年2月4日 取締役会	普通株式	751	6.27	2018年12月31日	2019年3月25日	利益剰余金
2019年4月25日 取締役会	普通株式	307	2.59	2019年3月31日	2019年6月20日	利益剰余金
2019年7月26日 取締役会	普通株式	945	8.03	2019年6月30日	2019年9月20日	利益剰余金

### 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月29日 取締役会	普通株式	1,061	9.02	2019年9月30日	2019年12月20日	利益剰余金

### 3 株主資本の著しい変動

当社は、2019年2月4日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,500,000株を取得したため、第2四半期連結累計期間において自己株式が1,653百万円増加いたしました。

また、2019年4月25日開催の取締役会決議に基づき、2019年5月17日付で自己株式2,500,000株の消却を実施したため、第2四半期連結会計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ1,653百万円減少いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が1,653百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,278百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	証券・FX事業	仮想通貨事業	計			
営業収益						
外部顧客への営業収益	22,736	2,938	25,675	560	-	26,236
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	43	43	0	-	0	-
計	22,692	2,982	25,675	560	0	26,236
セグメント利益	8,637	486	9,124	144	0	9,268

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	証券・FX事業	仮想通貨事業	計			
営業収益						
外部顧客への営業収益	21,270	3,202	24,473	445	-	24,919
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	57	57	0	-	0	-
計	21,328	3,145	24,473	445	0	24,919
セグメント利益	6,810	707	7,517	112	0	7,629

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

当第3四半期連結貸借対照表計上額と時価との差額及び前連結会計年度に係る連結貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められないため、記載を省略しております。



## (デリバティブ取引関係)

前連結会計年度末(2018年12月31日)

区分	取引の種類	契約額等 (百万円)	契約額等のうち 1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
店頭	外国為替証拠金取引				
	売建	950,574	-	32,736	32,736
	買建	918,276	-	1,232	1,232
合計		-	-	33,969	33,969

(注) 時価の算定方法 連結会計年度末の直物為替相場により算定しております。

当第3四半期連結会計期間末(2019年9月30日)

対象物の種類が通貨であるデリバティブ取引が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、当該取引の契約額その他の金額に前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

区分	取引の種類	契約額等 (百万円)	契約額等のうち 1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
店頭	外国為替証拠金取引				
	売建	873,133	-	37,812	37,812
	買建	827,475	-	4,157	4,157
合計		-	-	41,970	41,970

(注) 時価の算定方法 当第3四半期連結会計期間末の直物為替相場により算定しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	51.93円	39.15円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	6,216	4,628
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	6,216	4,628
普通株式の期中平均株式数(株)	119,700,196	118,228,640
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	51.28円	38.83円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(株)	1,514,551	978,868
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結 会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

## 2 【その他】

### ( 剰余金の配当 )

2019年7月26日開催の取締役会において、2019年6月30日の最終株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり第2四半期配当を行うことを決議し、配当を行っております。

(1) 配当の総額	945百万円
(2) 1株当たりの配当額	8円03銭
(3) 支払請求の効力発生日及び支払開始	2019年9月20日

2019年10月29日開催の取締役会において、2019年9月30日の最終株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり第3四半期配当を行うことを決議いたしました。

(1) 配当の総額	1,061百万円
(2) 1株当たりの配当額	9円02銭
(3) 支払請求の効力発生日及び支払開始	2019年12月20日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月13日

GMOフィナンシャルホールディングス株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	芝	田	雅	也
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	野	根	俊	和
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	大	辻	隼	人

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているGMOフィナンシャルホールディングス株式会社の2019年1月1日から2019年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、GMOフィナンシャルホールディングス株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。